

**令和3年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和3年12月
海老名市立上星小学校**

令和3年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語, 算数・数学)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

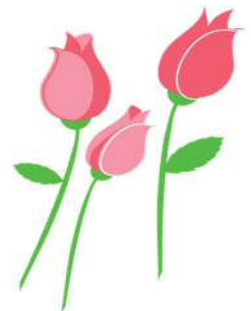
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査 (例)調査教科への興味・関心、読書時間、勉強時間の状況、ICT機器の使用状況、生活習慣 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

調査実施日

令和3年5月27日(木)



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるかどうかをみる。
- ・資料を用いた目的を理解することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じ、資料を使って話すことができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかどうかをみる。
- ・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができるかどうかをみる。
- ・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる。
- ・自分の主張が伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。
- ・文の中における修飾と被修飾の関係を捉えることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 「話の内容」や「自分の主張」を相手に明確に伝えるための文章の構成を考えることができている。
- スピーチにおいて、資料を用いる意味や意図を理解しています。

◆課題のある点

- 理由を明確にししながら、自分の考えをある程度長い文章にして書き表すことに課題が見られます。
- 漢字を正しく書き、文章の中で使うことに課題があります。
- 文章の「主語と述語との関係」「修飾と被修飾との関係」を捉えることに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 国語だけでなく、他教科の授業においても理由を明確にして自分の考えを記述する機会を設けます。
- 読み書きの学習にとどまらず、日常における漢字・熟語の活用に興味を持たせる授業を行います。
- 音読や短文づくりなどを通して、語と語のつながりについて理解を深められるように働きかけます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題場面から、必要な数量を選択し、事柄や関係を数学的に表現・処理することができるかどうかをみる。
- ・伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方や表し方について理解しているかどうかをみる。
- ・日常生活に必要な時刻を求めることができるかどうかをみる。
- ・基本図形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる。
- ・量の基本的な性質について理解しているかどうかをみる。
- ・図形の計量について、図形を構成する要素などに着目して捉え、筋道を立てて記述できるかどうかをみる。
- ・棒グラフから、データの特徴や傾向を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・データを二つの観点から分類整理し、表に表したり読み取ったりすることができるかどうかをみる。
- ・帯グラフから、複数のデータについての項目の割合を比較し、データの特徴を捉え、表現することができるかどうかをみる。
- ・設定した問題に対して集めるべきデータを判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の意味について理解しているかどうかをみる。
- ・小数を用いた倍の意味について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して理解し、考え表現することができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 与えられた条件をもとに、時刻を求めることができます。
- 統計的に課題を解決するために、「どのようなデータを集めるべきか」「どのように表に整理するか」を考え、判断することができます。

◆課題のある点

- 文章から問題場面をイメージし、数量の関係を捉えて式を立てることに課題が見られます。
- 図形の面積の求め方を理解することに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 問題場面を具体的にイメージできるよう、具体物や図、文章などを用いて考え、立式するような授業を行います。
- 図形を実際に手元で操作する活動を通して、図形を構成する要素や性質に着目し、面積の求め方を理解できるようにします。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「話し合うとき、友だちの話を最後まで聞くことができている」「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答した児童の割合が全国平均を上回っています。協働的な学習の方法を理解し、そのよさを感じながら学んでいます。
- 「英語の勉強は好き」「英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができている」と答えた児童の割合が全国平均を上回っています。多くの児童が、外国語・外国の文化に関心を持ち、積極的にコミュニケーションをとっていることが分かります。

◆本校の課題と思われるところ

- 国語の授業で、「言葉の特徴や使い方についての知識を理解し使っている」「考えと理由との関係が分かるように書いたり、表現を工夫して書いたりしている」と回答している児童の割合が、全国平均を下回っています。
- 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が全国平均を下回っています。

生活について

◆本校のよかったところ

- 約 80%の児童が「夢や目標を持っている」「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」と回答しており、多くの児童が将来に希望をもって、努力していることは、本校のよさです。
- 多くの児童が、読書が習慣化されています。

◆本校の課題と思われるところ

- 「自分には良いところがある」と答えた児童の割合が全国平均と比べて下回っており、「自己肯定感」を持つという点で、課題が見られます。
- 「人が困っているときに進んで助けるか」「人の役に立つ人間になりたいか」という問いに消極的な回答をする児童がいました。

今後の具体的な取組について

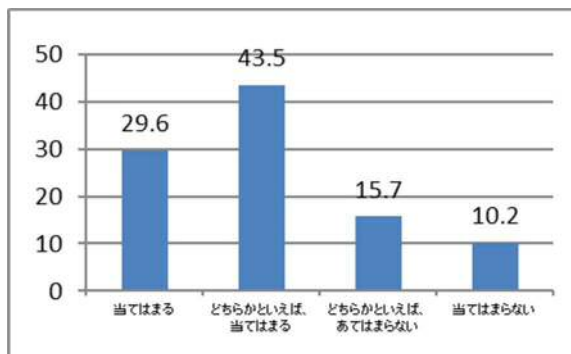
- 国語や他教科の授業において、事実や考えを整理しながら、文章に書き表す場面を増やします。
- 児童が自ら課題を見つけ、解決までの見通しを持ち、主体的に学ぶことができる授業を心がけます。
- 児童一人ひとりのよさが発揮できるように教育活動を工夫するとともに、自己肯定感を高めていくような言葉かけを大切にしていきます。
- 道徳教育・道徳の授業を充実させ、他者を思いやる心を育ててまいります。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 子どものよさ、がんばったことを認め、褒めましょう。

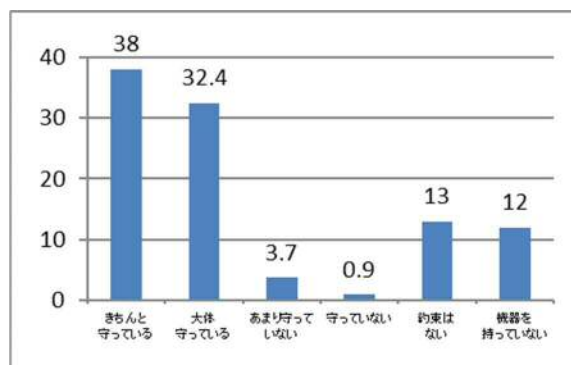
褒められることで、子どもたちは、何事にも前向きに取り組むための自信がつけます。子どもの次への挑戦を後押ししましょう。



自分には、よいところがあると思いますか

2 ICT 機器やインターネットを使う際の約束を決め、それを必ず守りましょう。

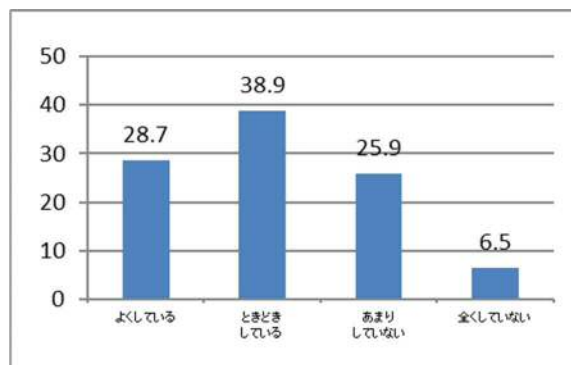
「ルールとモラルを守って使用すること」が、ICTの活用にあたって、とても重要なことです。ご家庭でも情報モラルについて話し合ってみましょう。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

3 学習の計画を立てて、勉強しましょう。

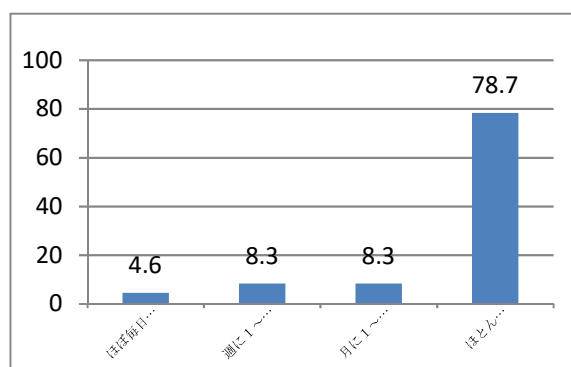
10分×学年（6年生は60分）を目安として計画し、毎日継続して家庭学習に取り組みましょう。



家で自分で計画を立てて勉強していますか

4 新聞を読んだり、ニュースを見たりして、社会の出来事に関心を持ちましょう。

新聞やニュース番組、インターネットニュースなどから興味を持った出来事を家族で話し合ってみましょう。



新聞を読んでいますか

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日摂る
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る
- ・コンピュータやスマートフォン等でゲームをする時間が短い

【主体的・対話的で深い学び】

- ・学習した内容を見直し、次の学習につなげている
- ・自分の考えが伝わるように工夫して発表している
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で学習計画を立てて学習をする
- ・家に本が多くある

【学級活動、道徳】

- ・学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決している
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりしている

【自尊感情・規範意識】

- ・自分には、よいところがあると思う
- ・自分でやると決めたことはやり遂げる

結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係

